



調査研究 ・ 審議の経過	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育出版、教育芸術社の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会 (6 月 26 日) で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会 (7 月 15 日、16 日) で、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取扱内容」については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、または、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるように、「共通事項」を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動がどのように取り扱われているか、という視点で調査し整理した。</li> <li>・「内容の構成・排列、分量等」については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか、または、内容の分量が、領域ごとに、全体としてどのようになっているか、という視点で調査し整理した。</li> <li>・「使用上の配慮等」については、児童の学習意欲を高める工夫がされているか、または、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 教出については、第 1 学年の鍵盤ハーモニカの写真正が大きく、6 ページにわたっており、指使いが分かりやすく練習しやすい。また、原曲を取り入れたり、透明シートや両開きの折り込みページが大きく鮮明であるという特色がある。</p> <p>主要部分には、「共通事項」を見開きごとに題材名の下に明示するとともに、新出事項、「ふりかえる」、「テントウムシ」等を紙面脇に明示し、児童が主体的に学習できるようになっている。また、巻末に「音楽のもと」が取り入れられているという特色があり、優れている。</p> <p>教芸については、音楽づくりに関する活動が、楽しく取り組みやすい内容で学年の発達の段階に合わせ、無理なく取り組み、第 3 学年以上の教材数も多い。活動のポイントを示すため「ダン」を使用し、児童が主体的に学習したり、巻末に「音楽の歴史をつくった人」を掲載し、児童の学習意欲を高めたりできるようにになっている。また、歌唱教材に、道徳と関連した学習ができるよう、我が国や郷土を愛する心を育成する教材が多く取り入れられているという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教出と教芸については、A B 判・ユニバーサルデザイン・再生紙の使用や日本や世界の伝統的な音楽文化の充実、リコーダー運指がページ端に大きく表記されており、見やすく主体的に練習できるような工夫がされている。</p>

## 音楽の目標等について

## 【教科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基本的な能力を培い、豊かな情操を養う。

## 【学年・領域等の目標など】

## 〔第 1 学年及び第 2 学年〕

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

## 〔第 3 学年及び第 4 学年〕

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

## 〔第 5 学年及び第 6 学年〕

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

## 【参考】

- 音楽科、芸術科（音楽）については、その課題を踏まえ、音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成すること、音楽と生活とのかかわりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度をはぐくむことなどを重視する。
  - このため、子どもの発達の段階に応じて、各学校段階の内容の連続性に配慮し、歌唱、器楽、創作、鑑賞ごとに指導内容を示すとともに、小・中学校においては、音楽に関する用語や記号を音楽活動と関連付けながら理解することなど表現と鑑賞の活動の支えとなる指導内容を〔共通事項〕として示し、音や音楽を知覚し、そのよさや特質を感じ取り、思考・判断する力の育成を一層重視する。
  - 創作活動は、音楽をつくる楽しさを体験させる観点から、小学校では「音楽づくり」、中・高等学校では「創作」として示すようにする。また、鑑賞活動は、音楽の面白さやよさ、美しさを感じ取ることができるようにするとともに、根拠をもって自分なりに批評することのできるような力の育成を図るようにする。
  - 国際社会に生きる日本人としての自覚の育成が求められる中、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度等を養う観点から、学校や学年の段階に応じ、我が国や郷土の伝統音楽の指導が一層充実して行われるようにする。
- 標準授業時数
- |        |            |        |            |
|--------|------------|--------|------------|
| 第 1 学年 | — 6 8 単位時間 | 第 2 学年 | — 7 0 単位時間 |
| 第 3 学年 | — 6 0 単位時間 | 第 4 学年 | — 6 0 単位時間 |
| 第 5 学年 | — 5 0 単位時間 | 第 6 学年 | — 5 0 単位時間 |

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽131 音楽231 音楽331 音楽431 音楽531 音楽631	小学音楽おんがくのおくりもの1 小学音楽音楽のおくりもの2 小学音楽音楽のおくりもの3 小学音楽音楽のおくりもの4 小学音楽音楽のおくりもの5 小学音楽音楽のおくりもの6
		取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら楽曲の気分を感じ取ったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。 第3,4学年～ 子どもが思いや意図をもって歌ったり、音色や旋律の特徴を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。 第5,6学年～ 旋律が重なり合った響きの美しさを感じ取ったり、歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
○ 音楽づくりについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 声や、身の回りの音を使って音遊びをしたり、鍵盤ハーモニカを用いて簡単な音楽づくりを楽しんだりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。 第3,4学年～ 楽器や声のいろいろな音の響きやその組合せを楽しんだり、様々な発想をもって即興的に表現したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。 第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしながらかつくる音楽の形や方法を考えたり、まとまりのある音楽をつくらしたりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。	○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 楽曲の気分を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりしながら聴く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を身に付け、音楽を味わって聴く。 第3,4学年～ 曲想とその変化を感じ取ったり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりしながら感受したことを書く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴く。 第5,6学年～ 曲想とその変化などの特徴を感じ取ったり、楽曲の構造を理解して聴いたりしながら書く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴く。			
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 体を動かして拍の流れにのって歌ったり、様子を思い浮かべて楽曲を聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 第3,4学年～ 旋律の特徴を生かして演奏したり、曲の流れを感じ取って聞いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 第5,6学年～ 楽曲を理解して表現を工夫して演奏したり、楽器の音色を味わって聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。		

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 図形化した音符や休符を見ながらリズム打ちをしたり、歌に合う打楽器を選んで打ち方を工夫したりするなど、各ページに示された〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第3,4学年～ 図形化した旋律を見ながら鑑賞したり、感じ取った音楽を形づくっている要素を記入したりするなど、各ページに示された〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第5,6学年～ 楽器群ごとに色分けした楽譜を見ながら音色に着目して鑑賞したり、感じ取った音楽を形づくっている要素を記入したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 歌唱や器楽、音遊びを通して様々な音を感じ取る学習の後に、音楽の面白さを見つけながら工夫して演奏したり、聴いたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 歌唱や器楽、鑑賞を通して、〔共通事項〕に気付く学習の後に、様々な音楽のよさを感じ取って特徴を生かして表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 歌唱や器楽、鑑賞を通して、〔共通事項〕を感じ取る力を身に付ける学習の後に、言葉と音楽とのかかわりなどを理解し、音楽表現を深める学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は42、器楽の教材数は13、音楽づくりの教材数は8、鑑賞の教材数は13であり、総ページ数は72ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は36、器楽の教材数は17、音楽づくりの教材数は7、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は72ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は30、器楽の教材数は20、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は18であり、総ページ数は74ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は30、器楽の教材数は16、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は40であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は31、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は72であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は9であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 巻頭に「音楽家からのメッセージ」（第4～6学年）や巻末に豊富な資料を掲載したり（全学年）、北海道民謡の「ソーラン節」を歌唱と器楽の教材として取り上げたり（第4学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 目次の主要教材ごとに「学習のねらい」や〔共通事項〕（葉のマーク）を示したり（全学年）、「テントウ虫のマーク」により活動のポイントを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「音楽のもと・まとめ」に各学年で学習した〔共通事項〕（全学年）や、巻末の折り込みページに「リコーダーの運指表」と音符・休符、記号などを掲載したり（第3～6学年）、イラストの配色や囲みの形状を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽132 音楽232 音楽332 音楽432 音楽532 音楽632	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
		取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 遊びながら拍を感じて体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌ったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。</p> <p>第3,4学年～ 重なり合う響きを感じ取ったり、旋律の特徴を感じ取って曲の感じを生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 歌声が重なり合う響きを感じ取ったり、曲想を味わいながら旋律の特徴を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。</p>
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等			<p>○ 音楽づくりについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ リズムに合う言葉を探して言葉遊びをしたり、打楽器を用いて様子を音楽で表す音遊びを楽しんだりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。</p> <p>第3,4学年～ 和太鼓やリコーダーを用いてお囃子の旋律をつくったり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしながらリズムを工夫したり、曲のまとまりに気を付けながら旋律をつくったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。</p>
		取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ リズムや音階を感じながら演奏したり、様子を思い浮かべて楽曲を聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p> <p>第3,4学年～ 拍の流れや旋律を感じて演奏したり、楽曲の特徴を感じ取って聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 和音の移り変わりを感じて演奏したり、曲想の移り変わりを感じて聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p>

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 図形化した音符や休符を見ながらリズム打ちをしたり、「こころのうた」のページに示された学習内容に気を付けて歌唱したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第3,4学年～ 歌唱教材で学習した音楽の仕組みを利用して音楽づくりをしたり、「こころのうた」に示された音楽の要素を理解したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第5,6学年～ 「音楽の歴史をつくった人」に示された楽曲の特徴を生かしたり、「こころのうた」に示された音楽の要素の理解を深めたりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 拍の流れや拍にのったリズムを感じ取る学習の後に、拍の流れや拍にのったリズムに着目して表現を工夫したり、聴いたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 階名唱を通して音程感を身に付けながら〔共通事項〕に気付く学習の後に、合唱やアンサンブルを通して音の重なりを感じ取る学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 音楽の特徴や〔共通事項〕を感じ取る力を身に付ける学習の後に、多様な音楽の魅力を味わいながら自分たちの音楽表現を深める学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は39、器楽の教材数は12、音楽づくりの教材数は5、鑑賞の教材数は8であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は34、器楽の教材数は13、音楽づくりの教材数は5、鑑賞の教材数は10であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は24、器楽の教材数は17、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は32であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は26、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は53であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は27、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は11であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は25、器楽の教材数は8、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は12であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 巻頭に「音楽ブリズム」(第3から6学年)や巻末に「音楽の歴史を作った人」を位置付けたり(第3～6学年)、北海道民謡の「ソーラン節」を鑑賞教材とし取り上げたり(第4学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 目次の主要教材ごとにねらいに迫るための具体的な学習目標を示したり(全学年)、キャラクターの吹き出しにより活動のヒントを示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「鍵盤楽器の指使い」(第1～3学年)や「リコーダーの運指表」(第3～6学年)をイラストや写真で示したり、その学年で押さえておきたい重要な学習内容を「ふりかえりのページ」として位置付けたり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	